

医学部キャンパス報告

高橋 岳水¹ 川田 延枝¹ 多田 志乃舞¹
T. Takahashi¹ N. Kawada¹ S. Tada¹
(香川大学医学部 情報ネットワーク管理室¹)

1. はじめに

情報ネットワーク管理室では医学部キャンパスに於ける情報セキュリティ対応と医学部キャンパスネットワークの整備などを担当している。

平成 29 年度の活動について報告する。

2. 総合情報センターネットワークシステム更新

平成 29 年度の総合情報センターネットワークシステム更新において、医学部キャンパスでは機器の更新と共に下記の改善を実施した。

2. 1 附属病院の災害時優先通信の設定

香川大学はBCP対策としてマルチホームネットワークを従来から構築しており、通常回線のSINETが何らかで利用できなくなると医学部からのバックアップ回線に切り替わる構成が取られている。しかし、バックアップ回線は通常回線より帯域の制約があるため、災害時に附属病院で必要な通信が確保できるか課題となっていた。

今回の更新ではバックアップ回線のファイアウォールが通常回線と同一機能となり帯域優先設定が可能となったため、附属病院の以下の通信について設定した。

1) 防災機関との通信、2) 国立大学病院医療情報遠隔バックアップシステムへのアクセス、3) 附属病院内の災害時優先端末からの通信

本改善により附属病院の災害時における優先通信を準備することができた。

2. 2 医学部事務ネットワークの構成変更

医学部設備部門が入る中央機械室はネットワークが基礎臨床研究棟から管理棟を経由していたため、建屋ごとに行われる電気設備点検の計画停電ではネットワークが停止する問題があった。

今回のシステム更新では中央機械室が各建屋の計画停電の影響を受けないよう経路の変更を実施した。また、中央機械室やBCP対策のバックア

ップ回線などの重要回線の一部についてはUPS+自家発電源とし停電時でもネットワークが継続利用できるように改善を図った。

3. 附属病院再開対応のネットワーク整備

医学部附属病院は、再開事業に平成 23 年度から着手しており、事業の進捗に合わせて附属病院内の学内ネットワーク整備を進めている。

3. 1 附属病院内のアクセススイッチ更新

附属病院で現在稼働しているアクセススイッチは平成 19 年度の導入で老朽化によるトラブルが課題となっている。このため、再開工事に合わせ、平成 27 年度から 4 年計画で更新を順次進めている。

平成 29 年度は東西病棟、外来診療棟、放射線関連棟で更新を進め、台数ベースで全体計画の約 84% の進捗率となった。最終年度となる平成 30 年度は外来診療棟、放射線関連棟などの更新を引き続き進める予定である。(表 1)

表 1 附属病院内のアクセススイッチ更新計画

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
東西病棟				
中央診療棟				
外来診療棟				
管理棟				
放射線関連棟				

3. 2 学生自習室移転対応の無線LAN整備

再開対応で学生自習室の一部が移転したため無線LAN環境の整備を実施した。移転先は学部ネットワークが未整備のため、既設光ケーブルを中継し合わせて計 5 か所にアクセスポイントを配備した。

4. おわりに

本報告では、総合情報センターネットワークシステム更新と医学部附属病院再開対応のネットワーク整備について述べた。附属病院再開対応は計画の最終年度に入っており、今後の運用に備えドキュメント類の整備も進める計画である。